

vol.3
見世物小屋シリーズ
Show-Tent Series

愛知芸術文化センター開館20周年記念
～劇場共同製作ダンス公演

NAMELESS VOICE

～水の庭、砂の家

見世物小屋シリーズ3部作完結編

Noism⁰¹

2012.10.12 金, 13 土 19:30[金]・16:00[土]

会場▷愛知県芸術劇場小ホール

演出振付▷金森穰(リューとびあ 舞踊部門芸術監督/Noism芸術監督) 衣裳▷堂本教子 映像▷遠藤龍 出演▷Noism1

料金▷【入場整理番号付き自由席】一般4,000円(当日+500円)、ペア券7,000円、高校・大学生2,000円(*25歳以下で学生証要提示)

中学生以下1,000円(*3歳以下入場不可、4歳以上有料)、セット券7,000円(Noism+BATIC) *セット券については芸術プレイ

ガイドのみ取扱いです。 チケット取扱▷前売り開始 7月27日(金) 愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430

チケットぴあ Pコード 422-492 0570-02-9999、ICDN オンラインサービス <http://dance.icdn.org/>

お問合せ▷愛知県文化情報センター 創造・発信グループ Tel:052-971-5511(代)

企画・制作▷愛知県文化情報センター 主催▷愛知芸術文化センター企画事業実行委員会 制作▷リューとびあ 新潟市民芸術文化会館

共同製作▷彩の国さいたま芸術劇場/SPAC 静岡県舞台芸術センター/愛知芸術文化センター/金沢21世紀美術館〔公財〕金沢芸術創造財団

助成▷平成24年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業、財団法人地域創造 協賛▷Chicot

NAMELESS VOICE

vol.3

見世物小屋シリーズ
Show-Tent Series

見世物小屋シリーズ3部作完結編

～水の庭、砂の家

愛知芸術文化センター開館20周年記念
～劇場共同製作ダンス公演

磨き上げられた専門的的身体をもって日本のダンス界を切り開いてきたNoism、 日本唯一の劇場専属ダンスカンパニーNoismの3回目の愛知公演決定！

演出振付家の金森穰のもと、日本のダンスシーンを牽引してきたNoism1が、今回は新潟市のりゅーとびあ及び全国の公立劇場との共同製作により、「見世物小屋シリーズ」の新作にして、3部作の完結編を上演。『Nameless Hands～人形の家』、『Nameless Poison～黒衣の僧』に続く『Nameless Voice～水

の庭、砂の家』は、見えない声に耳を傾けることを忘れた、生物としての身体をテーマに、太古から循環する「水」に生かされながら、様々な矛盾に晒されている私たちの世界の不条理劇として描かれます。磨き上げられた専門的な身体から発せられるダンスシアターにご期待下さい。



Photo: Kishin Shinoyama

金森 穰 Jo Kanamori / 演出振付 (www.jokanamori.com)

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督/Noism芸術監督。ルードラ・ベジャール・ローザンヌにて、モリス・ベジャールらに師事。ネザール・ダンス・シアターII、リヨン・オペラ座バレエ、ヨーテポリ・バレエを経て2002年帰国。03年初のセルフ・プロデュース公演『no·mad·ic project～7 fragments in memory』で朝日舞台芸術賞を受賞し、一躍注目を集める。04年4月、新潟りゅーとびあ舞踊部門芸術監督に就任し、劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。自らの豊富な海外経験を活かし、革新的なクリエイティビティに満ちたカンパニー活動を次々に打ち出し、そのハイクオリティな企画力に対する評価も高い。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。



堂本 教子 Kyoko Domoto / 衣裳 (www.31ocn.ne.jp/~kyoko88/)

コンテンポラリーダンス、舞踏、演劇、映画、音楽などの衣裳デザイン製作。Noismでは2004年に『black ice』、11年『OTHERLAND』"Stem"を手掛ける。99年と03年には、チェコ・プラハ カドリエンナレ国際舞台美術展出展。00年文化庁芸術家在外研修として、パットシェバ舞踊団の衣裳デザイナーRakefet Levyに師事。99年伊藤薫朝賞奨励賞、06年カイロ国際実験演劇祭ベストセノグラフィー賞(劇団地点の衣裳)、第36回橋秋子賞舞台クリエイティブ賞受賞。

Noism⁰¹

Noism1 (ノイズムワン/りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館劇場専属舞踊団)

出演：井関佐和子(副芸術監督)、宮河愛一郎(バレエマスター)、藤井泉、榊田祥光、中川賢、真下恵、青木枝美、藤澤拓也、宮原由紀夫、亀井彩加、角田レオナルド仁、小尻健太(ゲストメンバー)

Noismのメインカンパニー。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館が、舞踊部門芸術監督に金森穰を迎えたことにより、劇場専属のダンスカンパニーとして2004年4月設立。日本初、ヨーロッパスタイルのプロフェッショナル・ダンス・カンパニーとして、次々に発表する独創的な企画、作品は、日本のコンテンポラリー・ダンス界を牽引している。07年以降、海外7か国10都市でも公演。設立後3度の更新を経て、16年8月までの活動延長も決まり、新潟から日本の劇場文化発信の一翼を担う存在として、益々大きな期待と注目を集めている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。

www.noism.jp

2012.10.12金, 13土 開演時間▶ 19:30 [金]・16:00 [土] 開場は15分前

*公演終了後、金森穰によるアフタートークを行います。

会場▶ 愛知県芸術劇場小ホール(愛知芸術文化センター地下1階)

料金▶ 【入場整理番号付き自由席】一般4,000円(当日+500円)、ペア券7,000円[前売のみ]、
高校・大学生2,000円(*25歳以下で学生証要提示)[前売のみ]、中学生以下1,000円(*3歳以下入場不可、
4歳以上有料)[前売のみ]、セット券7,000円(Noism+BATIK)[前売のみ]
*セット券については芸文プレイガイドのみ取扱です。*当日券は、一般のみの販売とさせていただきます。

チケット取扱▶ 前売り開始 7月27日(金) 愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430、
チケットびあ Pコード 422-492 0570-02-9999、JCDNオンラインサービス <http://dance.jcdn.org/>
お問合せ先▶ 〒461-8525 名古屋市東区東桜1丁目13番2号 愛知県文化情報センター 創造・発信グループ
Tel: 052-971-5511(代) Fax: 052-971-5605 E-mail: bunjo@aac.pref.aichi.jp
<http://www.aac.pref.aichi.jp/>

企画・制作▶ 愛知県文化情報センター 主催▶ 愛知芸術文化センター企画事業実行委員会 制作▶ りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館
共同製作▶ 彩の国さいたま芸術劇場/SPAC-静岡県舞台芸術センター/愛知芸術文化センター/金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
助成▶ 平成24年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業/財団法人地域創造 協賛▶ Chacott

*学生のお客様は、当日受付にて学生証をご提示いただくことができます。
*開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。 *前売券完売の場合、当日券の発売はいたしません。



10月14日(日) Noismによるワークショップがあります。詳細は決まり次第WEB等でお知らせします。



アクセス▶ 地下鉄東山・名城線「栄」駅、名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、オアシス21経由徒歩3分

愛知芸術文化センター開館20周年記念～パフォーミング・アーツ・ウェーブ

10月18日(木)～20日(土) <今津雅晴/平敷秀人ダンス・ワークショップ&デモンストレーション>
10月31日(水)・11月1日(木) <劇場共同製作BATIK新作『おたる鳥をよぶ準備』>
11月3日(土祝)・4日(日) <開館20周年記念『金の文化祭 in AICHI』>

AICHI ARTS CENTER



▶金沢公演 日時▶ 2012年10月20日(土)、21日(日) お問合せ▶ 金沢21世紀美術館 交流課 Tel:076-220-2811

▶新潟公演 日時▶ 2012年10月27日(土)、28日(日)、11月2日(金)、3日(土祝)、4日(日) お問合せ▶ りゅーとびあ チケット専用ダイヤル Tel:025-224-5521